

一 般 質 問 通 告 書

上記の件について、下記のとおりに質問したいので、会議規則第62条第2項の規定により通告します。

2021年8月20日
東村山市議会議長 あて

議席番号 23番
質問者 山田 たか子

記

1. 秋津駅南北通行問題から考える、行政に届かない市民の痛切な声

2019年3月、秋津駅の不便解消を求める地域住民からの陳情に対する市の対応は、住民の問題解決には至らず、不便を訴える住民の声が後を絶たない。市民が抱える問題は地域性もあり、当事者にしかわからない苦悩がある。南北通行券等を検討された経過及び結果報告には、当事者への聞き取り等の内容は一切無く、とても違和感がある。いま、コロナ禍で苦しんでいる市民の現状を伺っていると、市民の困難性と行政の対応・課題意識への差を感じることがあるが、似た問題のように思われる。2020年2月13日付の報告（31東まま発第47号）をもとに以下伺う。

1) 駅構内通行券等の類似事例からの検討について

浦和・国立・高尾・春日部駅における対応は、立体交差や自由通路の整備完了までの時限的な対策であり、秋津駅は駅舎改修検討駅ではないことを理由に「通行券発行及び入場券補助を行う状況にはない」としている。整備予定が明らかにされていない高尾駅自由通路の計画の詳細を伺う。

2) 鉄道事業者へのヒアリングについて

- ① 駅構内での通行者同士の接触事故発生など、安全性確保への影響の懸念があげられているが、すでに実施している駅ではどれくらいの頻度で事故が起きているのか。
- ② 秋津駅構内で、接触事故等の事例はあるか。
- ③ 通行利用希望者が、ラッシュ時に利用する可能性について市としてはどのように想定されるのか伺う。

3) 福祉的観点での検討について

- ①平成29年度実施の「地域福祉計画意向調査」等の市民アンケート結果を確認されたとのこと。具体的に確認した調査やアンケートの名称・調査目的・内容・対象地域・回答率をそれぞれ伺う。
- ②なぜ、最新の状況を調査されなかったのか。陳情者がいるにもかかわらず「要望等はない」との判断は、妥当だったのか。
- ③2018年11月7日に開催された東京都市福祉保健主管部長会第3ブロック会で議題として提案された詳細を伺う。

4) まとめに記載されている「移動が困難な方に対する福祉サービスの提供」とは、具体的に何をさすのか。

5) 陳情者への聞き取り等を行ったのかどうか伺う。また、陳情者は署名を提出されているが、それをどのように受け止められたのか。

2. 子どもの歯からみる健康格差 ～早期発見と早期治療をどの子にも

全国保険医団体連合会の2020年の調査によると、コロナ感染拡大により検診後の未受診率の増加がみられた。「口腔崩壊(むし歯が10本以上、歯の根っこしかない未処置歯があるなど咀嚼が困難な状態)」に陥る子ども報告されている。家庭状況によって、市内の子ども達の健康格差が広がらないよう、検診と治療をセットで見守ってほしい。同時に、子ども達を取り巻く環境を調査して具体的な政策につなげていただくことを求め、以下伺う。

1) 歯科検診について

- ①市内の子どもを対象に実施している集団検診について、年齢別、施設(保育所、学校など)別に伺う。
- ②調査では口腔崩壊が約3割の小学校、約2割の中学校で確認されている。当市の状況を伺う。
- ③①で「要受診」と診断された場合、その後の受診率を伺う。